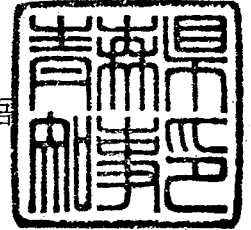




青防第436号
令和3年12月3日

防衛大臣 岸 信 夫 殿

青森県知事 三村 申吾



米軍三沢基地所属F-16戦闘機の飛行再開等について

令和3年11月30日に発生した米軍三沢基地所属のF-16戦闘機による燃料タンク投棄及び緊急着陸の事案について、12月2日、三沢基地周辺において、米軍のF-16戦闘機が飛行していることが確認されています。

県では、12月1日、米軍三沢基地に対し、事故原因の徹底究明を行い、整備徹底等の再発防止対策に万全を期すこと、及び速やかな現状復旧に努めるとともに被害が確認された場合には今後の対応に万全を期すよう強く要請しており、また、国に対しては、これら要請事項について米軍当局に厳しく申し入れるよう要請したところです。

また、12月2日現在、青森空港に緊急着陸した機体は撤去されない状況にありました。こうした中、本県に対して何らの説明もないままF-16戦闘機の飛行が再開されたことは、地域住民の感情を逆撫でし、ひいては米軍全体に対する県民の不信感を増大させかねないものと大変厳しく受け止めており、誠に遺憾です。

県では、米軍三沢基地に対し、飛行再開に係る考え方について早急に説明することを求めるとともに、改めて、事故原因の徹底究明を行い、整備徹底等の再発防止対策に万全を期すこと、及び速やかな現状復旧に努めるとともに被害が確認された場合には今後の対応に万全を期すよう強く要請しますので、貴職におかれては、米軍当局に対して強く申入れすること、並びに情報収集と連絡を強化することなど、特段の配慮を賜りますようお願いいたします。

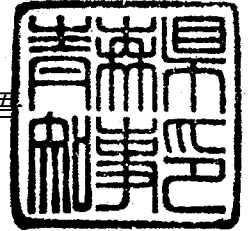
担当 青森県危機管理局防災危機管理課
017-734-9089



青防第436号
令和3年12月3日

外務大臣 林 芳正 殿

青森県知事 三村 申吾



米軍三沢基地所属F-16戦闘機の飛行再開等について

令和3年11月30日に発生した米軍三沢基地所属のF-16戦闘機による燃料タンク投棄及び緊急着陸の事案について、12月2日、三沢基地周辺において、米軍のF-16戦闘機が飛行していることが確認されています。

県では、12月1日、米軍三沢基地に対し、事故原因の徹底究明を行い、整備徹底等の再発防止対策に万全を期すこと、及び速やかな現状復旧に努めるとともに被害が確認された場合には今後の対応に万全を期すよう強く要請しており、また、国に対しては、これら要請事項について米軍当局に厳しく申し入れるよう要請したところです。

また、12月2日現在、青森空港に緊急着陸した機体は撤去されない状況にありました。

こうした中、本県に対して何らの説明もないままF-16戦闘機の飛行が再開されたことは、地域住民の感情を逆撫でし、ひいては米軍全体に対する県民の不信感を増大させかねないものと大変厳しく受け止めており、誠に遺憾です。

県では、米軍三沢基地に対し、飛行再開に係る考え方について早急に説明することを求めるとともに、改めて、事故原因の徹底究明を行い、整備徹底等の再発防止対策に万全を期すこと、及び速やかな現状復旧に努めるとともに被害が確認された場合には今後の対応に万全を期すよう強く要請しますので、貴職におかれては、米軍当局に対して強く申入れすること、並びに情報収集と連絡を強化することなど、特段の配慮を賜りますようお願いいたします。

担当 青森県危機管理局防災危機管理課

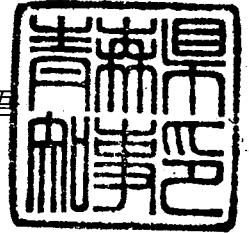
017-734-9089



青防第436号
令和3年12月3日

東北防衛局長 市川 道夫 殿

青森県知事 三村 申吾



米軍三沢基地所属F-16戦闘機の飛行再開等について

令和3年11月30日に発生した米軍三沢基地所属のF-16戦闘機による燃料タンク投棄及び緊急着陸の事案について、12月2日、三沢基地周辺において、米軍のF-16戦闘機が飛行していることが確認されています。

県では、12月1日、米軍三沢基地に対し、事故原因の徹底究明を行い、整備徹底等の再発防止対策に万全を期すこと、及び速やかな現状復旧に努めるとともに被害が確認された場合には今後の対応に万全を期すよう強く要請しており、また、国に対しては、これら要請事項について米軍当局に厳しく申し入れるよう要請したところです。

また、12月2日現在、青森空港に緊急着陸した機体は撤去されない状況にありました。

こうした中、本県に対して何らの説明もないままF-16戦闘機の飛行が再開されたことは、地域住民の感情を逆撫でし、ひいては米軍全体に対する県民の不信感を増大させかねないものと大変厳しく受け止めており、誠に遺憾です。

県では、米軍三沢基地に対し、飛行再開に係る考え方について早急に説明することを求めるとともに、改めて、事故原因の徹底究明を行い、整備徹底等の再発防止対策に万全を期すこと、及び速やかな現状復旧に努めるとともに被害が確認された場合には今後の対応に万全を期すよう強く要請しますので、貴職におかれては、米軍当局に対して強く申入れすること、並びに情報収集と連絡を強化することなど、特段の配慮を賜りますようお願いいたします。

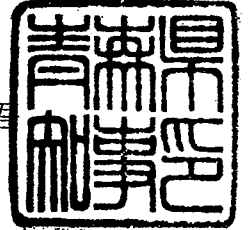
担当 青森県危機管理局防災危機管理課
017-734-9089



青防第436号
令和3年12月3日

米軍三沢基地司令官
ジェシー J. フリーデル 殿

青森県知事 三村 申吾



米軍三沢基地所属F-16戦闘機の飛行再開等について

令和3年11月30日に発生した米軍三沢基地所属のF-16戦闘機による燃料タンク投棄及び緊急着陸の事案について、12月2日、三沢基地周辺において、米軍のF-16戦闘機が飛行していることが確認されています。

県では、12月1日、米軍三沢基地に対し、事故原因の徹底究明を行い、整備徹底等の再発防止対策に万全を期すこと、及び速やかな現状復旧に努めるとともに被害が確認された場合には今後の対応に万全を期すよう強く要請しており、また、国に対しては、これら要請事項について米軍当局に厳しく申し入れるよう要請したところです。

また、12月2日現在、青森空港に緊急着陸した機体は撤去されない状況にありました。

こうした中、本県に対して何らの説明もないままF-16戦闘機の飛行が再開されたことは、地域住民の感情を逆撫でし、ひいては米軍全体に対する県民の不信感を増大させかねないものと大変厳しく受け止めており、誠に遺憾です。

飛行再開に係る考え方について早急に説明することを求めるとともに、改めて、事故原因の徹底究明を行い、整備徹底等の再発防止対策に万全を期すこと、及び速やかな現状復旧に努めるとともに被害が確認された場合には今後の対応に万全を期すよう強く要請します。

担当 青森県危機管理局防災危機管理課
017-734-9089